

部 報 第 1 1 7 号

平成 1 7 年 3 月 2 5 日
全国高体連卓球専門部

【平成 1 6 年度 全国高体連卓球専門部第 2 回理事会議事録】

I 日 時：平成 1 7 年 3 月 2 5 日（金） 理 事 会 1 6：0 0～1 8：0 0

II 会 場：奈良ロイヤルホテル・会議室

III 議 事：

1 あいさつ

（財）全国高等学校体育連盟卓球専門部長 後藤 泰之
奈良県高等学校体育連盟卓球専門部会長 森本 重和

2 協議事項

① 第 1 号議案 平成 1 7 年度事業計画承認の件

ア 平成 1 7 年度第 7 4 回全国高等学校総合体育大会（千葉大会） 安西委員長

期 日：公開抽選会 平成 1 7 年 8 月 6 日（土）1 6：0 0～
開 会 式 平成 1 7 年 8 月 7 日（日）1 6：0 0～
競 技 平成 1 7 年 8 月 8 日（月）～1 2 日（金）
閉 会 式 平成 1 7 年 8 月 1 2 日（金）

会 場：公開抽選会 「成田国際文化会館」
開会式・競技・閉会式 「成田市体育館」

○大会要項について

- ・競技日程について、例年と異なり第 1 日目にダブルスを行わない。
- ・宿泊料金は地区により、3 段階の料金を設定。成田は A 段階（11,500 円）になる。
- ・宿泊申込書類は「2005 千葉きらめき総体」WEB ページよりダウンロードする。
- ・学校対抗の組合せ抽選会は「参加校監督・主将による公開抽選会において行う」と文面を変更した。

○その他

- ・タイムテーブルは現在検討中。
- ・プログラム編成会議の集合時間は、昨年より若干早く、1 3：3 0 とした。
- ・島根総体の反省から、プロ編成会議後、7/8～9 で準備会議を設ける。
- ・競技役員（案）について、昨年より役員数を減らした。この案で予算化してあるのでお願いしたい。
- ・開会式は、入場行進を行わず、体育館フロアの椅子に座った状態で始める。各県の代表チームの写真をいただき、映像と音声を併せてアトラクションの中で選手紹介する計画をしている。
- ・福原愛選手の対応は、奈良選抜大会を参考にして今後考えていきたい。
- ・会場が観客席が 1, 2 0 0 席と少ないので、混雑を避ける・安全を確保するために入場制限をする予定である。
- ・千葉大会は参加章をバッジではなく、ID カードとし、それをもっている者だけがフロアに降りることができる。
- ・学校対抗公開抽選会は成田国際文化会館で行うことができるので、岐阜選抜大会のように、ステージ上で抽選会を行う予定である。
- ・決勝戦は選手紹介を行う。また、オーダーの掲示をするかは検討中である。
- ・全国高体連より、宿泊に関する規程の遵守についての依頼があった。また、外部指導者の申請書について、裏面に保険の証明書を貼付できるようにしたい。

（若尾理事長）

※承認

イ 平成 1 7 年度第 3 3 回全国高等学校選抜卓球大会（広島大会） 行則委員長

期 日：平成 1 8 年 3 月 2 6 日（日）～2 8 日（火）

会 場：広島県総合体育館（グリーンアリーナ）

- ・ 1 日目は組合せ抽選会、監督会議、開会式を行い、例年と異なり競技は行わない。2 日目に男女学校対抗予選リーグ 3 試合と決勝トーナメント 1 回戦を行う。大アリーナに卓球台を 32 台置き、男女同時進行で行う。また、2 部シングルスは小アリーナに 16 台置き、午後より実施する。3 日目は例年通りである。決勝トーナメント 1 回戦より 2 台使用する。
- ・ 学校対抗の試合方式が第 33 回大会よりインターハイと同じ方式（1D4S）で行う。多少時間はかかるが、タイムテーブルどおりいけると思われる。
- ・ 宿泊は広島プリンスホテルを予定している。また、開会式も同ホテルで行う。宿泊費は、インターハイ以下となるよう折衝中である。
- ・ 参加申込み先が総体とは異なり、理事長ではなく事務局長になっているが間違っていることはないか。（安西委員長）
 （答）申込みが総体はまとめて県高体連から送られてくるが、選抜は各参加校からということで期限を守らなかったり、確認しなければならない事項（外国籍選手、外部指導者など）があり仕事の効率化を考え申込みを事務局長とした。
 （若尾理事長）

※承認

- ウ 平成 17 年度全日本ジュニア冬季強化合宿および春季強化合宿
 平成 17 年度指導者講習会 丸田副理事長
- ・ 平成 16 年度の事業報告は世界ジュニア視察を含め報告書で替える。
 - ・ 冬期合宿・指導者講習会は群馬県で行う。例年通りの規模で実施予定。選手は約 40 名を選び、選抜後の春期合宿ではさらに約 20 名に絞って行う。
 - ・ 日本卓球協会からの予算が削減され、高体連の負担が増えるが今までの強化・実績を考え、例年通りの形で実施したい。（若尾理事長）

※承認

- ② 第 2 号議案 平成 17 年度収支予算案承認の件 関川会計理事
- ・ 収入の部について
 補助金は、全国高体連より 25 万円、日本卓球協会より登録人数×200 円
 分担金は各都道府県より総体学校対抗出場チーム 1 校につき 15,000 円×110 チーム
 - ・ 支出の部について、慶弔費が足りない指摘があり増額した。

※承認

- ③ 第 3 号議案
 委員会・事務局提案承認の件
- ア 技術委員会 丸田委員長
- ・ 今年のヨーロッパ遠征は、フレンチオープン（2 年に 1 回開催）に参加。（ポーランドジュニアオープンまで参加すると期間が長くなり、日程上無理がある。）
 - ・ 全国高体連卓球専門部第 2 回指導者研修会（中国指導者研修会）の開催について平成 11 年に実施し、成果をあげた。この研修会を復活させ、2 月に実施したい。
 - ・ 中国の方によくお願いしておきたい。（後藤部長）

※承認

- イ 年報編集委員会 初田年報委員長
- ・ 16 年度年報の申込み状況について
 - ・ 全国高校卓球七十年誌（訂正版）について 100 部作成
- ウ 審判委員会 中村委員長
- ・ 島根総体の報告について
 ベンチコーチの際にあまり良くないことが起きている。
 外国製ラケットについて、使用許可願をもって試合に臨んでもらった。試合の進行にも役立った。
 監督章を左の肩につけていただいた。観客席からも、また審判員からもよくわかり、外部指導者の問題からも良かった。
 - ・ 接着剤については 2007 年度 9 月から今の接着剤は使用できなくなる。

エ IT委員会

小坂委員長

- ・HPの更新が遅れているのではないかとの指摘があった。来年度は頑張りたい。
- ・プライバシー保護に注意しながら、情報公開を進めていく。
- ・試合結果は迅速に、公開すべきはきちんと公開していく。

オ 事務局

坂部事務局長

- ・平成18年度全国総体定数について
例年通り、学校対抗は全国高体連加盟学校数で、シングルス・ダブルスは日卓個人登録数を元に算出した。

※承認

④ 第4号議案

平成17年度役員人事承認の件

若尾理事長

平成17年度任期満了・定年退職の先生の補充

総体開催地部長 錦織靖雄

関東ブロック理事 渡辺昂夫

監事 秋吉航一

III 報告事項

① (財) 全国高等学校体育連盟評議員会

若尾理事長

- ・福原愛選手の総体出場について
- ・外国人留学生の総体出場について
エントリー数の概ね20%以内が原則

② (財) 日本卓球協会評議員会

関川理事長

- ・平成17年度大会要項が日卓協のHPに掲載される。

URL <http://www.jtta.or.jp>

- ・お見舞い制度

IV 連絡事項

① 開催地実行委員会

斉藤委員長

② 事務局

坂部事務局長